

この評価ソフトは、改正省エネ基準の経過措置が終わる2015年3月までの期間限定で使用できます。

CASBEE 新築[簡易版]

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2010年補遺版Ver.2 (BPI/BEI対応) | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010bpi&bei(v.2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	守口市立さつき学園	階数	地上5F
建設地	守口市春日町38番地1, 66番地, 59番	構造	S造
用途地域	第一・二種住居地域・近隣商業地域	平均居住人員	910 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	3,000 時間/年
建物用途	学校,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年12月 予定	評価の実施日	2014年6月10日
敷地面積	17,415 m ²	作成者	浦辺設計 河本
建築面積	5,191 m ²	確認日	2014年7月22日
延床面積	14,207 m ²	確認者	浦辺設計 河本



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.9 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値: 400% (kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み: 81%

③上記+②以外の: 81%

④上記+: 81%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.6

Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
Q1のスコア = 3.2	Q2のスコア = 3.6	Q3のスコア = 4.1
音環境: 3.0, 温熱環境: 3.0, 光・視環境: 3.4, 空気質環境: 3.4	機能性: 4.0, 耐用性: 3.4, 対応性: 3.4	生物環境: 4.0, まちなみ: 4.0, 地域性・: 4.5

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.6

LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
LR1のスコア = 3.9	LR2のスコア = 3.4	LR3のスコア = 3.4
建物の: 4.0, 自然エネ: 3.0, 設備システ: 5.0, 効率的: 3.0	水資源: 3.4, 非再生材料の: 3.6, 汚染物質: 3.0	地球温暖化: 3.7, 地域環境: 3.1, 周辺環境: 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合 既存の小学校中学校敷地を統合し、小中一貫校を建設する計画の中で、児童生徒たちが安心・安全で生活出来る空間を構成すると共に当該建物及び周辺環境にも配慮する計画とした。	その他 限られた広さの敷地の中で、2つの中庭を囲む平面形の校舎とすることで、グラウンドを確保した。校舎は通風、採光の室内環境に配慮すると共に、外部に対して威圧感の無い形状となるよう配慮した。また、小中一貫校として学習	
Q1 室内環境 新しい小中一貫校として、快適な学習環境を実現する。特に、さまざまな学習形態に対応できるように普通教室の内部にワークスペースを設け、それに対応した照明等の設備計画としている。	Q2 サービス性能 トイレは防汚性を考慮した材料を使用し、各トイレに掃除用流しを設けることで管理しやすい計画とした。	Q3 室外環境(敷地内) 緑地の少ない環境にあって、屋上に農園を設け、既存の池をビオトープとして再生するなど密度の高い緑化計画としている。
LR1 エネルギー 2階から5階に吹き抜ける「風の塔」を設置し天井部に自動開閉換気窓を設けることで、自然通風換気エネルギーの利用を考慮した。太陽光パネル	LR2 資源・マテリアル 耐震壁以外に乾式工法を採用し、内装変更等に対応出来るように配慮をし、トイレには節水型器具を選定し、水資源に対する配慮をした。	LR3 敷地外環境 周囲の環境を考慮し増築建築物を既存建物に囲まれる位置に計画し、周囲の樹木を出来るだけ残す計画とした。また、学校で特に問題となる砂塵対策として、校庭を人工芝とした。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム

大阪府の重点評価(結果)

Osakafu-新築・既存2010V1.03

【建物概要】	建物名称	守口市立さつき学園		
	建設地	守口市春日町38番地1, 66番地, 59番地3		
	用途/区分	学校		
【評価結果】	CASBEE 総合評価			A
	CO2削減			4
	省エネ対策			4
	みどり・ヒート アイランド対策			4
	エネルギー消費量の報告			報告しない

【評価項目】				
省エネルギー対策		① CO2削減		
		② 省エネ対策		
項目		評価内容	スコア	評価
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.7	4
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 3」のスコアによる評価	建物全体 3.0 住戸・宿泊	4
	建物の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	4.0	
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	5.0	
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価	3.0	
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価	3.4	
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策		
項目		評価内容	スコア	評価
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	4.0	4
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	4.0	
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	3.0	
その他				
先進的技術の導入		技術の名称	考慮事項	
		太陽光発電	太陽光発電による自然エネルギー利用を行っている。	
特に配慮した事項				